



フードバンクプロジェクト@ちた

知多市市民活動センター

平成28年8月31日(水)

フードバンクプロジェクト@ちたが始動して
まる4年、第4回意見交換会が8月31日(水)に
市民活動センターで開催、35人が参加した。

講師には認定NPO法人セカンドハーベスト
名古屋の山内大輔氏を迎えフードバンクの活動
概要や行政と連携した個人支援の現状について
近況報告した。

事例報告のあとの意見交換では、東海・知
多・阿久比・美浜・南知多は2HNと行政(社協)
の連携した個人支援がない現状が分かり、地域
連携を改めて考える機会になった。また、児童
への支援をしたいが状況が分かりづらいため、
学校とのネットワークが求められているとの意
見があった。現場より飲み物だけ欲しい、パン
はいらない等うまくかみあわない場合があるとの
ことで、今後に向けてニーズアンケートをし
よう!という声につながった。

様々な意見・現状を聞くことができ良かった
かったという声が多く、知多地域の「食の
セーフティネット」を重ね合わせ、支援者間の
連携をすすめていくために、より一層努力して
いく事が重要だと再認識できた。(市野)



▲軽食を囲みながら和やかに自己紹介が進む会場



▲事例紹介では、社協、学校、地縁、県福祉相談、NPO
それぞれのコーディネーターが繋いだ支援を共有した

参加者の声

- ・さまざまな困っている母子の方々、お金のない方々が相談にやってきます。お金は用意できないけれど食べ物があればこの母子は助かるのに、と思うことがありました。私一人でも小さい声を上げていこうと話を聞きに来ました。
- ・フードバンク活用には受け取る側の工夫が必要なので意見交換会はいいい勉強になると思う。
- ・他市町の生活困窮に関する現況の一部を聞いて、とても参考になりました。
- ・生活困窮者へのハードルをあまり高くせず自然と困窮者に届くシステム(体制づくり)が必要かと思いました。
- ・食品ロスの問題、困窮者支援の問題をもっとたくさんの人の知ってもらおう努力をしなければ。みんなが少しずつでも関われる活動を進めていきたいと思いました。